

どすこい人生

元幕内力士「錦洋」 川崎悟さん(鹿児島県鹿屋市)





川崎悟さん。鹿屋市上祓川町出身。池田病院でマッサージ師として再出発して11年目になる。池田病院には川崎さん以外に、9名の障害者が働いている



1970年春場所で技能賞を獲得した時の新聞



医療法人青仁会 池田病院
〒893-0024 鹿児島県鹿屋市下祓川町1830
TEL0994-43-3434 FAX0994-40-1117



川崎さんの職場



「川崎さんの、病気や障害に負けずに生きる姿勢が、患者や職員のいいお手本」と話す池田徹理事長

鹿児島県鹿屋市にある池田病院リハビリテーションセンター。この一角で、患者さんをマッサージする白衣の大男がいる。大横綱の大鵬、北の湖から金星を上げたこともある元大相撲幕内力士「錦洋（にしきなだ）」こと、川崎悟さん（五四歳）だ。

川崎さんは、力士の職業病とも言われる糖尿病に苦しみ、引退後に失明、腎不全も併発し、人工透析を受ける生活となった。二〇〇一年二月には、糖尿病性壊死のため、右足を膝下から切断。三重苦を背負いながらも、マッサージ師として活躍している。

子供の頃から体の大きかった川崎さんは、小学校の入学式には六年生用の制服を着用し、鹿屋中学入学時には、体重が九〇キロもあった。

鹿児島で大相撲の巡業があった折、地元出身の関脇鶴ヶ嶺のサインを求めて見学に行った。鶴ヶ嶺関はサインをしながら、川崎少年の体を見回し、「相撲取りになる気はないか。なるんだったら俺が弟子にさせてやる」と声をかけてきた。

こうして川崎少年は、中学卒業を待たずに、井筒部屋に入門した。一九六五年、大阪場所での初土俵、六八年新十両、翌年七月には入幕を果たした。幕内で二七場所、最高位は東前頭筆頭。しかし、糖尿病が進み、体力の限界を感じた川崎さんは、七七年一月、相撲生活に終止符を打ち、奥さんの故郷、鳥取県米子市で、ちゃんこ料理店「大我」を開店した。

店も順調で、妻と娘二人との穏やかな日々が続いていたが、糖尿病は川崎さんから視力を奪い、腎不全も併発させた。

「このままでは妻や子供に迷惑をかけ、かわいそうだ」と考えた川崎さんは、病院のベッドで自ら離婚を選び、八七年、単身で鹿児島島に帰省。実家から池田病院へ通院し、透析を受ける日々が続いた。

「目が見えなくても、透析していても、何かできるはず」と模索する中から、「手足が動くのだから、マッサージ師になろう」と決意し、三九歳で鹿児島県立盲学校に入学した。受験勉強も大変だった。

「高校生に交じり、中年の大男が詰襟の学生服姿で、白杖をついての通学。まわりはびびくりしていたようです」と笑う川崎さんだが、三年間頑張り通して、あん摩マッサージ指圧師の資格を取得し、九三年、鹿屋に戻った。

「よく頑張った。もう心配ない。うちでマッサージ師として働きながら、娘さんたちの帰りを待ちなさい」と池田病院の池田哲男会長に迎えられ、同年十二月に就職した。



あぁ、どすこい、どすこい
 今歩き始めた三たびの人生
 あぁ試練あるのは覚悟のうえ
 負けてたまるか、泣くものか
 子供のためにも負けられぬ
 新たなこの世の人生の
 土俵に向かい今度こそ
 上げて見せるぞ勝ち名乗り
 ——以下略

（川崎悟さん作詩の相撲甚句より）



座ったままで仕事ができる、川崎さん専用の広いマッサージ台



「おはようございます。本日の朝礼を始めます」と森田伸一リハビリテーションセンター室長（左）のあいさつで朝のミーティングがスタート



「こうして毎日頑張って働いていれば、幼い時に別れた娘たちにも会える」と、娘さんとの再会を楽しみにする川崎さん。近く、長崎旅行の計画のある娘さんから、待望の電話があったそうだ



義足の着脱や院内の移動には、同僚たちの協力を得る



「相撲界を奨めた責任と、医者としての立場から応援してきた。川崎は、よくやってきた」と話す池田哲男会長



体は大きかったが、子供の頃から池田哲男会長（81歳、左）には、よく診察してもらった。「上京する時も、病院のマイクロバスで西鹿児島駅まで送ってもらい、現役力士時代も、病気で帰郷してからも、ずっとお世話になりっぱなしです」。現在、高齢で体調があまりよくない池田会長に「少しでも、気分がよくなってほしいから」とマッサージで恩返しの日だ



2日おきに人工透析を受ける



仕事が終わると、今度は自分のためのリハビリと前向きな川崎さん



小・中学校などでの講演も多くなった。最近では年10回を超える（鹿児島県障害者雇用促進大会で。写真提供：社団法人鹿児島県障害者雇用促進協会）



職員たちとおしゃべりしながら昼食をとる川崎さん。「弱音を吐かない生き方は、私たち職員にとっても心の支えであり、皆のまとめ役です」（森田伸一室長の話）